

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題o-アセト酢酸トルイジドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験試験番号

92050

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-アセト酢酸トルイジド
- 2) 試験生物： オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- 3) 生物数： 20頭／試験区(1連につき5頭で1試験区20頭)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 暴露方式： 止水式
- 6) 試験濃度： 1,000、667、444、296、198 mg/L(公比：1.5)、助剤対照区及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき4連
- 8) 試験液量： 1試験容器(1連)につき200 mL
- 9) 試験水温： 20±1℃
- 10) 照 明： 室内光、16時間明／8時間暗
- 11) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)
(暴露開始時、暴露終了時)

結 果

- 1) 24時間暴露後の結果
24時間半数遊泳阻害濃度(EiC50) >1,000 mg/L
- 2) 48時間暴露後の結果
48時間半数遊泳阻害濃度(EiC50)=931 mg/L
最大無作用濃度(NOECi)=667 mg/L
100%阻害最低濃度＝本試験の濃度範囲では得られなかった。
(上記濃度は、全て設定濃度に基づく)

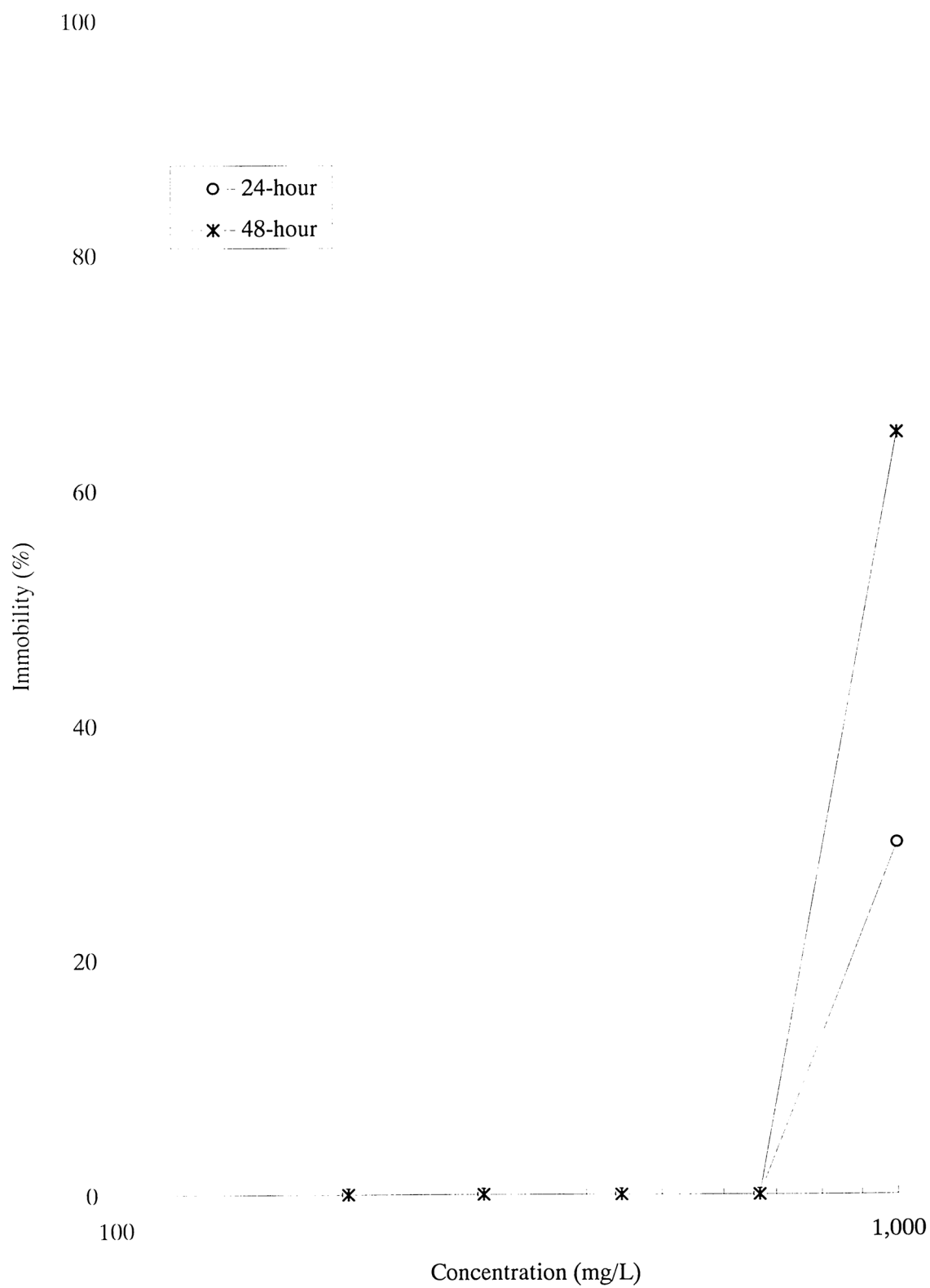


Figure 1. Concentration - toxicity curve of *o*-acetoacetotoluidide in *Daphnia magna*.